

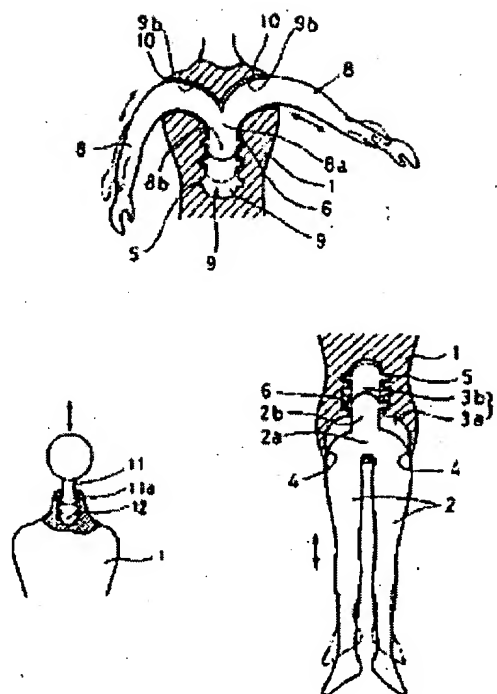
DOLL TOY

Patent number: JP2159291
Publication date: 1990-06-19
Inventor: SUZUKI RIKI
Applicant: TAKARA CO LTD
Classification:
 - International: A63H3/04; A63H3/36; A63H3/46
 - european:
Application number: JP19880315819 19881214
Priority number(s): JP19880315819 19881214

Abstract of JP2159291

PURPOSE:To provide a doll toy capable of changing the whole size by expansively putting an arm part and/or a head part into and out of a receiving part of a trunk.

CONSTITUTION:When leg parts 2 are forced into a trunk part 1, the proximal ends 2a are pushed into the trunk part 1 to shorten the length of portions exposed to the exterior, so that the whole stature is contracted. Further, an annular projection part 6 of an adjusting shaft part 2b engages then an adaptable annular groove 5 in an inserting hole 3b so that the leg parts 2 cannot be put in and out further unless a considerable force is applied. Since the foot parts 2, arm parts 8 or head part 11 can be expanded and contracted by being put in and out of receiving parts 3, 9, 12 of the trunk part 1, the whole size of a doll toy can be adjusted. Further, these as a whole are more natural than that of trunk length to be adjusted, and the size of the doll toy can be adjusted to correspond to different sizes of dresses.


BEST AVAILABLE COPY

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

THIS PAGE BLANK (USPTO)

⑫ 公開特許公報(A)

平2-159291

⑬ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)6月19日

A 63 H 3/04
3/36
3/46Z 6822-2C
C 6822-2C
B 6822-2C

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全4頁)

⑮ 発明の名称 人形玩具

⑯ 特 願 昭63-315819

⑰ 出 願 昭63(1988)12月14日

⑱ 発 明 者 鈴木 りか 東京都葛飾区青戸4丁目19番16号 株式会社タカラ内

⑲ 出 願 人 株式会社タカラ 東京都葛飾区青戸4丁目19番16号

⑳ 代 理 人 弁理士 瀬川 幹夫

明 細 書

1. 発明の名称

人形玩具

2. 特許請求の範囲

(1) 以下の要件を備えることを特徴とする人形玩具。

(イ) 腕部、脚部又は首部は胴体部とは別個に形成され、胴体部に対して比較的長く形成されていること。

(ロ) 上記腕部、脚部又は首部の各基端側は胴体部の収容部に出し入れ可能に収容されていること。

(2) 前記腕部、脚部又は首部は、胴体部の収容部内に摺動可能に収容されている請求項(1)記載の人形玩具。

(3) 前記腕部、脚部又は首部の基端側と胴体部の収容部とは互いに係合する係合部が形成されている請求項(1)記載の人形玩具。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は腕部、脚部又は首部を胴体部に対して伸縮させることができる人形玩具に関する。

(従来技術とその問題点)

従来、身長を変えることができる人形玩具として、胴体部を上下に2分割し、互いに上下方向にスライドさせることにより胴体長を調整するものが知られている。

しかしながら、胴体長を可変式にすることにより身長サイズを変えるときは、全体のバランスが不自然になりやすい。したがって、異なるサイズの衣服を着せるために胴体を伸縮させる場合、とくに胴体長を伸長させるときに胴長とになってしまうから、全体が不自然となる欠点があった。

(発明の技術的課題)

本発明は上記欠点を解消し、特に腕部、脚部又は首部を伸縮させることにより全体のサイズを変えることができる人形玩具を提案することをその技術的課題とする。

(課題を解決するための手段)

上記課題を解決するため、本発明に係る人形玩具は以下の要件を備えることを特徴とする。

(イ) 腕部、脚部又は首部は胴体部とは別個に形成され、胴体部に対して比較的長く形成されていること。

(ロ) 上記腕部、脚部又は首部の各基端側は胴体部の収容部に出し入れ可能に収容されていること。

なお、前記腕部、脚部又は首部は、胴体部の収容部内に摺動可能に収容されるように構成してもよく、あるいは、前記腕部、脚部又は首部の基端側と胴体部の収容部とは互いに係合する係合部を形成してもよい。

(発明の作用、効果)

上記構成により、腕部、腕部又は首部は胴体部の収容部に出し入れすることにより伸縮させることができるから、人形玩具の全体サイズを調整することができる。しかも、これらは胴体長を調整するものよりも全体的な不自然さはなく、ほとんど伸縮しないものと変わらない。し

に、その基端側2aは互いに連結され、連結部からさらに上方に調整軸部2bが形成されている。調整軸部2bの径は収容部3の挿入孔3bの径とほぼ同じ程度に形成され、また調整軸2bの先端には環状凸部6が形成されている。

上記上記脚部2の基端側2aは胴体部1の開孔部4から収容部3内に収容され、調整軸部2bは挿入孔3b内に挿入されている。

上記構成により、脚部2を胴体部1内に押圧すると、その基端側2aは胴体部1内に押し入れられ、外部に露出している部分の長さが同図に点線で示すように短くなるので、身長全体も縮小する。なお、このとき調整軸部2bの環状凸部6は挿入孔3bの適合する環状溝5内に係合し、それ以上の脚部2の出し入れは相当の力を入れないとできない。

次に、第2図は腕部8を伸縮可能に構成した例で、胴体部1の内部には腕部8の基端側8aを収容する収容部9が形成されている。該収容部9は胴体部1の中心に設けられた挿入孔9a

たがって、サイズの異なるドレスに対しても、人形玩具のサイズを対応させて調整することができたり、人形遊びにおいても子供が成長していくような設定ができるので、従来とは異なる遊びを行なうことができる。

(実施例)

以下、図面によって本発明の実施例について説明する。

第1図において、符号1は合成樹脂製人形玩具の胴体部、2は脚部を示す。

胴体部1の内部には脚部2の基端側2aを収容する収容部3が形成されている。該収容部3は腰部に設けられた空洞部3aと該空洞部3aの上に設けられた挿入孔3bとから形成され、空洞部3aの下端両側には外部に開口する開口部4が形成されている。そして、上記挿入孔3bの内壁には複数の環状溝5が形成されている。

脚部2は胴体部1とは別個に形成され、胴体部1に対して比較的長く形成されているとともに

と該挿入孔9aからY字形に分岐して肩開口部10に通じる分岐孔9bとから構成され、挿入孔9aの内壁には複数の環状溝5が形成されている。

腕部8は胴体部1とは別個に形成され、胴体部1に対して比較的長く形成されているとともに、その基端側8aは互いに連結され、連結部からさらに下方に調整軸部8bが形成されている。調整軸部8bの径は収容部9の挿入孔9aの径とほぼ同じ程度に形成され、また調整軸部8bの先端には環状凸部6が形成されている。

上記上記腕部8の基端側8aは胴体部1の肩開口部10から収容部9の分岐孔9b内に収容され、調整軸部8bは挿入孔9a内に挿入されている。

上記構成により、腕部8を胴体部1内に押圧すると、その基端側8aは胴体部1内に押し入れられ、外部に露出している部分の長さが短くなるので、全体のサイズも縮小する。なお、このとき調整軸部8bの環状凸部6は挿入孔9a

の適合する環状溝5内に係合し、それ以上の腕部8の出し入れは相当の力を入れないとできない。

なお、脚部2又は腕部8は上述のように左右が連結される構造のものに限定されない。例えば、第3図(a)(b)に示すように、各腕部8又は脚部2がそれぞれ胴体部1の収容部9、3'に出し入れ可能に形成してもよい。

さらに、第4図は首部11の伸縮構造を示すもので、首部11は胴体部1に対して比較的長く形成され、その基端11aは前述と同様な構成により胴体部1の収容部12に対して出し入れ可能に形成されている。

上述のように、脚部3、腕部8又は首部11は胴体部1の収容部3、9、12に出し入れすることにより伸縮させることができるから、人形玩具の全体サイズを調整することができる。しかも、これらは胴体長を調整するものよりも全体的な不自然さはなく、ほとんど伸縮しないものと変わらない。したがって、サイズの異なる

ドレスに対しても、人形玩具のサイズを対応させて調整することができたり、人形遊びにおいても子供が成長していくような設定ができるので、従来とは異なる遊びを行なうことができる。

なお、腕部、脚部又は首部はその全部又は一部を胴体部に出し入れしてもよく、またその出し入れ構成は、上述のような係合方式でなくともよい。例えば、腕部、脚部又は首部の全部又は一部を胴体収容部に対して摺動可能に設ける構成であってもよい。

また、係合方式の場合においても、凹凸の係合であればよく、これらが必ずしも環状に形成されている必要はない。例えば、胴体部1の挿入孔の内壁の一侧に長手方向に沿って間隔をおいて溝部を形成する一方、調整軸の対応する側面に突起部を形成し、両者を係合させる構成であってもよい。

4. 図面の簡単な説明

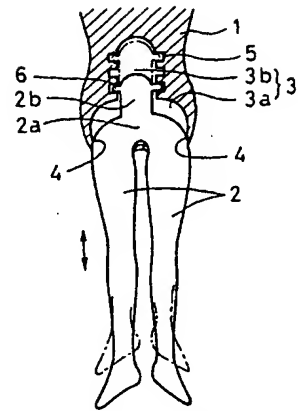
第1図は本発明に係る人形玩具の脚部の説明

図、第2図は腕部の場合の説明図、第3図(a)(b)はそれぞれ脚部及び腕部の他の例の説明図であり、第4図は首部の説明図である。

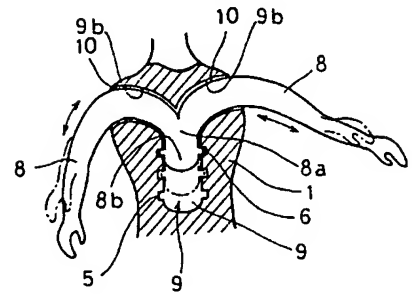
符号1…胴体部、2…脚部、2a、8a…基端側、3、9、12…収容部、8…腕部

特許出願人 株式会社タカラ
代理人 弁理士 瀬川 幹 夫

第 1 図



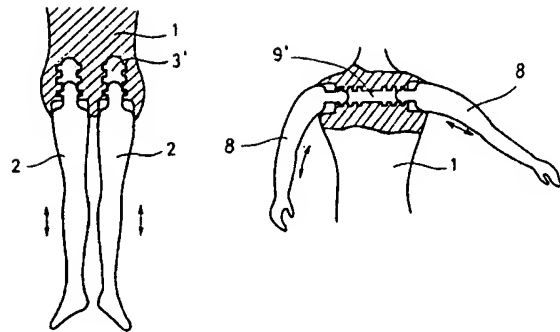
第 2 図



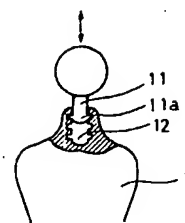
第 3 図

(a)

(b)



第 4 図



1 ... 胴体部
2 ... 脚部
2a, 2b ... 基端側
3, 4 ... 収容部
8 ... 腕部

1 ... 胴体部
2 ... 脚部
8 ... 腕部

BEST AVAILABLE COPY